

北神けいろうの国政報告：4月号

いつも大変お世話になっています。

小沢代表の件について

先月、小沢代表の公設秘書が政治資金規正法違反の疑いで起訴されました。皆様に大変ご迷惑をかけていること、心よりお詫び申し上げます。

代表自身が明言しているように「政権交代による政治の刷新」が大義です。法律論も大事ですが、**最後は、国民の皆様の声を聴かなければならない**と考えています。いずれにせよ、**民主党としては、結束してこの難局を乗り越えなければなりません。**

北朝鮮のミサイル発射に対して制裁を強化すべし

さて、去る4月5日、北朝鮮はミサイル発射を強行しました。我が国をはじめ、国際社会からの度重なる中止要請を押し切ったの暴挙です。

当然、今回の北朝鮮の行為について、**さらに同国に対する制裁を強化すべきです。**

しかしながら、それだけでは足りません。

北朝鮮への送金を停止しても、輸出入を全面禁止しても、北朝鮮にとっては織り込み済みの話でしょう。

「北神けいろう」からポスター掲示のお願い!!

新しい政党ポスターができました。自宅や店舗の外壁、フェンスなどへ、ポスターのご掲示の御協力をお願いいたします。

「六者会合」の脱退を検討すべし

私は、**もはや、六者会合を脱退することを検討しなければならない**と考えています。六者会合は、日本と北朝鮮以外に、米国、中国、ロシア、韓国が含まれています。話し合いによって、北朝鮮の核・ミサイルの問題を解決することになっています。拉致問題についても、議題にはあがっています。

他方、北朝鮮側は、譲歩する代わりに経済援助を求めています。

こうした交渉は、お互いが誠実でなければ、信頼関係はできません。信頼関係がなければ、いくら日本が経済援助をしたとしても、いつまた核開発をするか分からない、ミサイル開発をするか分かりません。だいたい、北朝鮮の不誠実きわまりない対応は、今回のミサイル発射にはじまったことではありません。これまでも何度も何度も、北朝鮮の恫喝外交に裏切られてきました。

日本としては、その度に、「対話」を続けなければならないという事で、六者会合をはじめ北朝鮮との関係維持のために我慢をしてきました。しかし、このままでは全く埒があきません。

日本が六者会合から脱退すれば、北朝鮮のみならず、他の国に対しても日本の覚悟が伝わる。逆に、このまま未練がましくつきあえば、北朝鮮だけでなく、他の国も「日本はどんな仕打ちをされても、ついてくる」と、我が国の発言力は低下するばかりです。

最後は、米国も中国もロシアも、日本に資金援助を頼らなければなりません。ここの部分の交渉力を最大限に活かすことが大事ではないでしょうか。